

近況報告（その4）

服部、梅田、土肥、石谷

「近況報告」メール：目次（メール受信順）

1.	2020/5/18 服部	-----	1 ページ
2.	18 梅田	-----	2
3.	21 土肥	-----	2
4.	21 石谷	-----	3

1. 2020/05/18 服部

お久しぶりです。皆さんお元気ですか。

緊急事態宣言の延長が決まり、そしてそれから 10 日たち、39 県の解除があったものの埼玉県はその対象から外れてしまいました。まだ、ぽつぽつと新感染者が出ております。しかし、ピークは過ぎ収束に向かっているように思います。

いままで 70 歳以上の高齢者の死亡率が 10 数%と高く、たまに、人気のない場所へ散歩に行くほかは、用心して家に籠っていました。先日、政府専門家会議の座長が正確な感染者数はもっと多いはずで、この 10 倍か 20 倍か 30 倍か分からない…との発言がありました。感染の実態が分からず、対策を練っていたのかと唖然としました。しかし、よく考えてみると、死亡者数はそれほどごまかしようがないから、死亡率は大きく下がることになります。例えば、死亡者 700 人として、20 万人感染していたとすると、0.35%という値になります。これなら、大したことはない、ついに昨日、3 か月ぶりに床屋へ行きました。何十年ぶりの長髪でした。しかし昔に比べて、髪密度が小さくなり、こしも弱くなっていることを知ることになりました。

しかし、まだまだ安心はできません。皆さん、これからも十分注意して生活してゆきましょう。なお、明日から所沢の図書館は館内には入れませんがリクエストをすれば窓口で借りることができるようになります。

これから先、公園駐車場が開くことになるのでしょうか。公民館の部屋使用が一番後で、ずーと先、場合によっては年内は無理かもしれません。公園の駐車場が開いたら、散歩・スケッチなどすることにしましょう。やりたいけど BBQ は不可でしょうね。

皆さんの近況もお知らせ下さい。

ではまた、服部

2. 2020/05/18 梅田

こんにちは、皆さんいかがお過ごしですか。

私もきょう2か月ぶりに散髪へ行ってきました。9:00開店のカットだけの店ですが20分前には既に10人程が並んでいました。

「ステイホーム」生活は、今までと特に変わりはありません。少し慣れてきたというか、自粛疲れはあまり感じていません。相変わらず続けている散歩も、マスク着用で暑くなってきました。人が見えない場所は外してしまいます。

BBQ いいですね～！ やりたいですね～！ その日が来るのを期待します。テレビでコロナ以前の人が集まってる場面などを見ると、なんだか随分昔の出来事の様で再びこんな日常が来るのか？とってしまいます。狭山市はこのところ感染者が増加していないので少しほっとしています。このまま行ってもらいたいです。

熱中症にも注意を怠りなく過ごしましょう。

梅田

3. 2020/05/21 土肥

巣ごもり生活がだいぶ長くなりました。さすがこの頃では “自粛” “辛抱” “頑張りましょう” の言葉にストレスを感じ閉塞感いっぱいウンザリしています。

先日 ウォーキング途中で見知った人に出会い、わずかな時間 “不要不急” の立ち話をしました。ただそれだけでも気分の落ち着きを実感しました。何気ない人との関わりが大切だと言う事でしょう。一日も早く日常生活が戻る事を願っています。

土肥

4. 2020/05/21 石谷

皆さん

いかがお過ごしですか。

緊急事態宣言の解除において、
今日のニュースによると
大阪・京都・兵庫の3府県は解除され、
関東の1都3県と北海道は解除を見送りになるようですね。

塾居生活の中では、
他の皆さんと同様、近場のウォーキングをよくしています。
しかし、近郊維持のためとは言え、少し惰性的になってきました。
より強いマインドが問われます。

先日(5/19)、ウォーキングで自宅から彩の森公園まで行きました。
公園の池では、ピンクの蓮がもう咲き始めていました。
季節はコロナと関係なく移っているのだなと…………。

ここには、亀がたくさんいました。
しゃがんでおいでおいでと手招きすると、
驚いたことに、水辺から上がってきたのです。
手先の亀たちとは、視線が交差しました。
水辺の残りの亀も早泳ぎでこちらに向かってきます。
ただ、上がった亀たちはエサがもらえないと判ると直ぐに戻ってしまいました。
初めての経験で、亀は人になつくとは聞いていましたが、これほどとは驚きでした。

ついでに、
智光山公園の池のカモなどについての余話です。
孫が来るとよく行くところです。

この池には、カモとコイがいます。
ここに、パンをちぎって投げ込むと、両者が食べます。
彼らのお腹がすいていると、その取り合いが激しくなります。
通常の見合いでは、カモの方が断然有利です。
カモは、エサが投げられる瞬間からその飛行をウォッチしており、
その着水点を予測して行動を開始しているからです。

それでも集まったコイの数が多くなると、
エサの直ぐ下のコイが、カモのくちばしが届く直前でエサを先にゲットできる割合が多くなります。

直前のエサ横取りが数回続くと、カモが怒ってコイをくちばしで激しくつつくことがあります。

また、カモのお腹がすいている場合は、
人慣れしたカモから順番に水から上がってきます。
子どもがエサをやりながら歩くと
20羽程度もついてくることがあります。

更には、
小鳥も木枝に集まってくる場合があります。
彼らは、上に放り上げたエサを空中でキャチします。

カラスも1、2羽集まってきますが、彼らは小鳥たちの外側です。
低い枝や地上から私たちを見ている。
明らかに、エサを欲しがっていることがわかります。
投げると喜んで食べます、
が後はあげません。

(エサやりで、孫は3回に1回は自分も食べています。)

先日にも池に行ったところ、カモは一羽もいませんでした。
北方からの渡り鳥であるため、もう旅立ったのかもしれない。
季節が変わりました。

もう直ぐ、解除宣言解除の当初予定の5月末を迎えます。
解除に向けて、3密を避けた自粛生活をもう少し続けましょうか。
早ければ、5/25にも解除になる可能性があるそうです。

From
石谷 亨



彩の森公園の池にて
(2020/5/19)

